

## BTSJ 活用方法講習会の趣旨

BTSJ 活用方法講習会受講申し込みの皆さま

この度は、BTSJ 活用方法講習会の受講申し込みをありがとうございました。

本システムは「総合的会話分析」（宇佐美、2008）\*という方法論に適するように開発された「BTSJ」という文字化の原則に基づくもので、約 20 年の利用の実績に基づいて、改訂してきています。その経験に基づいて、時間と労力のかかる文字化作業を少しでも効率化して、より多くの方に会話データに基づく有意義な研究をしていただきたいと考え、2009年に入力支援と自動集計システムを、また2011年には、複数ファイル自動集計システムを搭載しました。さらに2015年には、各発話の発話時間が入力できるようになりました。また新たに、NCRB（Natural Conversation Resource Bank）というWEB 上のデータベースと連動させることによって、データベースへのアップロードや、検索したデータのダウンロードなど、様々なことができるようになりました。「共同構築型データベース」として、広く関係の方々にご活用いただきたいと思います。

それでは、講習会でお目にかかれまことを楽しみにしております。

研究代表者 宇佐美まゆみ

\*宇佐美まゆみ（2008）「相互作用と学習－ディスコース・ポライトネス理論の観点から」西原鈴子・西郡仁朗編『講座社会言語科学第 4 巻教育・学習』、ひつじ書房：150-181.

=====

### 注意事項 1

本システムセットは、**講習会をすべて受講された方のみ**に配付します。本システムセットを生かして、有意義な研究を行っていただくためには、「総合的会話分析」の理論的背景や主旨を正確に理解した上で活用していただくことが極めて重要です。そのため、本システムセットの利用は、**講習会をすべて受講した本人のみ**に限らせていただいております。

講習会は、一部の参加も可能ですが、その場合、**本システムセットは配付できません**ので、予めご了承ください。

=====

### 注意事項 2

本システムセットを無断でコピー、及び、配付すること、また、本システムセットを利用して文字化し保存したデータを、当研究会に許可なく「独自のコーパスという形」にして公開することなどは、ご遠慮ください。（ご相談いただければ、よい形の協働を検討したいと思います）

### 講習会当日にご用意いただきたいもの

(1) 「改訂版：基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese) 2019年改訂版」 (資料7) (各自プリントアウトをお願いします。)

(2) ご自身のパソコン

BTSJ に基づいた文字化やコーディングの方法を通常のエクセルでも解説し、実際に体験していただきます。参加者の皆様は、ご自身のパソコンをご用意ください。

「BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット (2019年改訂版)」 (マイクロソフト・エクセルのマクロ機能を利用したもの) は、現在、**日本語 OS・Windows** の、以下の環境で動くことが確認されています。

- windows7: excel2010(32bit), excel2013(32bit), excel2016(32bit)
- windows8.0: excel2010(32bit), excel2013(32bit), excel2016(32bit)
- windows8.1: excel2010(32bit), excel2013(32bit), excel2016(32bit)
- windows10: excel2010(32bit), excel2013(32bit), excel2016(32bit)、  
excel2016pro(64bit), office365pro (64bit)

**※Mac (macOS) では動きません。**

(3) 「文字化体験用音声データ (女性)」 (資料8)

=====

### 注意事項 3

本システムセットを利用した研究を、論文等、何らかの形で発表する際は、必ず、以下の**正式名称を、出典として明記**してください。

**本文中**では、以下のように記載してください。

宇佐美まゆみ (2019) 「BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット (2019年改訂版)」

**「引用文献リスト」、或いは、「資料リスト」**には、以下のように記載してください。

宇佐美まゆみ (2019) 「BTSJ文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システムセット (2019年改訂版)」『語用論的分析のための日本語1000人自然会話コーパスの構築とその多角的研究』平成30年度～令和3年度 科学研究費補助金基盤研究 (A)－(課題番号 18H03581) (研究代表者：宇佐美まゆみ) 研究成果

引用文献に記載する情報は各利用許諾契約書にも記載してありますので、ご確認ください。

=====

## 参考文献&参考サイト

BTSJ 活用方法講習会に参加するにあたって、以下の参考文献やサイトをご覧ください。  
お目通しのうえ参加することをお勧めします。

※各参考文献は、このファイルと同じフォルダの中にあります。

### 参考文献

以下の論文に「総合的会話分析」、及び、それを構成する「言語社会心理学的アプローチ」、「グローバルな分析」、「ローカルな分析」、BTSJ 話し言葉コーパス等についての解説があります。

(1) 宇佐美まゆみ (1999) 「談話の定量的分析—言語社会心理学的アプローチ—」『日本語学』18 (11)、明治書院:40-56. (資料1)

(2) 宇佐美まゆみ (2006) 「談話研究におけるローカル分析とグローバル分析の意義」『言語情報学研究報告 13 自然会話分析への言語社会心理学的アプローチ』東京外国語大学大学院地域文化研究科 21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」:229-243. (資料2)

(3) 宇佐美まゆみ (2008) 「相互作用と学習—ディスコース・ポライトネス理論の観点から」西原鈴子・西郡仁朗編『講座社会言語科学第 4 巻教育・学習』、ひつじ書房:150-181. (資料3)

(4) 宇佐美まゆみ (2009) 「『伝達意図の達成度』『ポライトネスの適切性』『言語行動の洗練度』から捉えるオーラル・プロフィシエンシー」鎌田修・山内博之・堤良一編『プロフィシエンシーと日本語教育』、ひつじ書房:33-67. (資料4)

(5) 宇佐美まゆみ (2013a) 「会話データの作成・分析—「総合的会話分析」と「基本的な文字化の原則 (Basic Transcription System for Japanese: BTSJ)」」『日本語学』32 (14)、明治書院:132-147. (資料5)

(6) 宇佐美まゆみ・中俣尚己 (2013b) 「『BTSJ による日本語話し言葉コーパス (トランスクリプト・音声) 2011 年版』の設計と特性について」『第 3 回コーパス日本語学ワークショップ予稿集』、国立国語研究所言語資源研究系・コーパス開発センター:217-228. (資料6)

(7) 「基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese) 2019年改訂版」(資料7) (参照用に、可能な方はプリントアウトしてください。)

参考サイト

「基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese)」に関するいくつかの観点からの解説は、それぞれ、以下の URL で閲覧できます。

1. BTSJ の開発の背景

[https://ninjal-usamilab.info/lab/about\\_btsj/background/](https://ninjal-usamilab.info/lab/about_btsj/background/)

2. 「BTSJ に基づいて文字化作業をする際の Q&A」

[https://ninjal-usamilab.info/lab/about\\_btsj/btsj\\_faq/](https://ninjal-usamilab.info/lab/about_btsj/btsj_faq/)

3. 「基本的な文字化の原則 (BTSJ: Basic Transcription System for Japanese) を用いた研究方法 (コーディングの仕方) 2011 年改訂版」

[http://ninjal-usamilab.info/pdf/btsj/example\\_of\\_coding.pdf](http://ninjal-usamilab.info/pdf/btsj/example_of_coding.pdf)

=====

お問い合わせ

-----

BTSJ 講習会係

E-mail: [btsjworkshop@ninjal.ac.jp](mailto:btsjworkshop@ninjal.ac.jp)

-----